

令和4年度学校評価について

令和4年4月11日

本年度の重点目標		<ol style="list-style-type: none"> 1 個に応じた指導の工夫・改善及び授業力の向上 2 自立と社会参加を促す教育活動の推進 3 「笑顔」のある安心・安全な学校づくり 4 関係機関や保護者等との連携による教育活動の推進 5 センターの機能の充実 6 仕事の効率化、勤務時間の適正化を図る 		
項目	重点目標	具体的方策	留意事項	
小学部	<ol style="list-style-type: none"> 1 離れた場所で学習する児童同士が、ともに学び合える環境をつくりまします。 2 体験的な活動や人との関わりを通して、豊かな心を育てまします。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 同時双方向型通信や協働学習用アプリケーションを活用した学習をさらに推進しまします。 2 外部資源も積極的に活用しながら、より多くの経験ができるような学習を計画しまします。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 オンライン授業の実践を積み重ねるとともに、教員間での課題の共有と授業改善に努めまします。 2 体験活動の実施に当たっては、感染症対策を十分に講じ、同時双方向型通信による実施も取り入れながら安全に進めまします。 	
中学部	<p>基礎的・基本的な学力の習得を確実にを行うとともに、集団で活動する中で、自らの課題に気付き、個性の伸長を図り、他者とよりよい人間関係を築く力を育てまします。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 生徒の実態や学習状況を適切に把握し、学習集団を工夫するなど、きめ細やかな指導を行います。 2 ICT機器を活用し、校内教育、BS学級、施設内教育学級で同時双方向型通信を使った授業を行い、集団で学び合う環境づくりをします。 3 集団活動の中で、対話的、協働的な活動を設け、自分の意見を発表したり合意形成したりする経験を、多くの生徒ができるよう支援しまします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭、医療機関、前籍校との連携、情報共有を図ることで、実態把握に努めまします。 ・生徒の願いや目標、支援内容や方法など、教師間での共通理解を図りまします。 ・同時双方向型通信での授業がスムーズにできるよう教師間での連携を図りまします。 ・集団学習の中で、他者と自分の考えの違いなどに気付き、自己理解につながるよう、生徒の気持ちに寄り添った支援に努めまします。 	
高等部	<ol style="list-style-type: none"> 1 各教育課程の指導内容及び指導方法について検証し、改善を進めまします。 2 自己実現を目指し、集団の一員として生きる力を身に付けまします。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 生徒一人一人の実態を的確に把握し、授業力の向上及び適切な指導が実施できるよう、高等部職員全体で共通認識をもち、研修に努めまします。 2 社会へ出ることを見据え、挨拶や言葉遣い、他の生徒への思いやりなど、人との関わり方を学べるように学校生活の中で支援・指導しまします。 3 集団での活動場面において、実態に応じた役割分担や他の生徒との協働を意識し、生徒が達成感や成就感を味わえるように指導しまします。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 職員全員が生徒個々の実態を的確に把握し、幅広い視野、長期的な展望をもって適切な指導をします。生徒個々の短期的な目標や課題についても、職員全員が理解し、学校生活全般を通じて、PDCAサイクルを図りまします。 2 ICT機器を積極的に取り入れ、授業や各行事等で有効に活用し、学習効果を高めまします。 3 生徒が自己の病気や心身の状況に応じて、学習に取り組むことができるよう支援しまします。 	
施設内教育	<p>名大藤田中京</p> <p>児童生徒が安心して学べるように、保護者及び医療機関との連携を保ち、個に応じた指導の工夫と充実に努めまします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者、病院、前籍校等と協力し合って学習環境を整え、児童生徒の実態に合わせた学習保障に努めまします。 ・児童生徒の進路の参考とするため、病棟に入院している高校生の学習状況について情報を収集し、進路指導に活用していきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問教育部と連携しながら、ベッドサイド授業を実施しまします。また、短期入院の児童生徒の転入について速やかに対応しまします。 ・情報収集については、病棟の理解と協力を得ながら進めていきます。特に私立の高校についての情報収集に力を入れます。 	
訪問教育	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒と心理的な安全性を構築し、一人一人の実態に応じた授業の実施に努めまします。 ・病院等の関係機関との連携を密にし、児童生徒が安心して学べる環境作りに努めまします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の特性や学習の状況、病状を的確に実態把握して授業を実施しまします。 ・電話やメール、また連絡ノート等を活用し、病院等の関係機関との情報交換を積極的に行いまします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒との対話や身体的なやりとりを通して、児童生徒にあった目標・内容・方法を検討しまします。 ・お互いの立場や状況を尊重し、より良い関係性の構築を検討しまします。 	
総務部	<ol style="list-style-type: none"> 1 魅力ある教育活動の情報発信に努めまします。 2 保護者にとってより有意義になるようにPTA研修会やPTA活動を進めまします。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 本校、施設内、訪問教育と連携を図り、学校だより・校内掲示等を利用して、活動や取組について具体的に発信していきます。 2 保護者のニーズと照らし合わせながら、PTA研修会やPTA活動の内容を企画・検討していきます。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 教育活動が生き生きと伝わるよう、写真やコメント、レイアウトなどを工夫しまします。 2 社会の状況に充分配慮しながら、形式や方法について保護者と一緒に検討しまします。 	
教務部	<p>児童生徒が自己の自立について考えると同時に、自立に必要な力を教師とともに考え、主体的にその力を身に付けることができるよう支援しまします。</p>	<p>個別の教育支援計画を基に、個々の目標や活動内容が実態に適しているかを児童生徒の心身の状態を踏まえて検討し、自己理解を深めたり、自己管理の力がついたりするような活動内容の工夫を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の指導計画の作成、検討では、医療機関や保護者と連携して児童生徒の実態把握を丁寧に行いまします。 ・活動の実施にあたっては、安心安全な環境設定に努めるとともに、ワークシート等を活用して、児童生徒が活動の成果を実感し、自信がもてるような支援に心掛けまします。 	
自立活動				

生徒指導部	児童生徒が安心・安全に関する様々な課題に関心を持ち、主体的に安心・安全な生活の実現を目指すことができるような学校づくりに努めます。	<ol style="list-style-type: none"> 1 避難訓練や定期的にシェイクアウト訓練を実施し、児童生徒の防災への意識を高めていきます。 2 不審者対応訓練を実施し、緊急対応マニュアルの見直しをします。 3 毎週、各部会で児童生徒の情報交換を行うとともに、年2回、児童生徒を対象とした「心のアンケート」を実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難経路や避難場所等の確認、定期的にシェイクアウト訓練を実施することで、防災に対する意識を高められるようにします。 ・警察署員を講師に招き、不審者対応訓練を実施したり、緊急対応マニュアルの見直しを学校全体で取り組んだりすることで、児童生徒に安全かつ的確な支援ができるようにします。 ・日頃から職員間で情報共有を図り、いじめの早期発見に努めます。いじめ不登校対策委員会を開催し、いじめの防止、早期対応に学校全体で当たります。
保健体育部	教育環境の整備や安全指導を充実させ、児童生徒の健康管理を適正にし、安全で安定した学習ができるような環境作りと保健指導の充実に努めます。	<ol style="list-style-type: none"> 1 児童生徒の健康状態の把握や事故防止に努め、児童生徒個々に応じた緊急時の対策等の情報を職員に周知徹底し、共有しながら、より安心で安全な教育環境を整えます。 2 医療的ケアや食物アレルギー対応の実施については、保護者や関係する機関との連携を深める中で、児童生徒や教職員が、お互いに安心して学校生活を送ることができるように支援します。 3 日常の健康と安全に対する意識を高め、家庭や病棟と連携を取り、感染症対策や食習慣の重要性を周知していきます。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 児童生徒の情報を職員で共有し、緊急時のスムーズな対応に備え、安全指導の徹底を図ります。 2 安心・安全な対応ができるよう、委員会等で十分に審議し、その情報を共有し、保護者や関係機関との理解と協力を得ながら全校体制で行います。 3 全児童生徒に毎朝の健康観察を行うと共に、給食配膳時も健康観察を実施します。各種便りやメール配信を介して、児童生徒保護者への情報発信に努め、感染症対策の徹底や食習慣の重要性を周知していきます。
進路指導部	児童生徒の実態と児童生徒・保護者のニーズを踏まえ、適切な進路決定に向け進路指導の充実に努めます。	<ol style="list-style-type: none"> 1 キャリア教育ノートの活用やキャリアパスポートの体系的な運用等、キャリア教育の充実を図ります。 2 学年や教育形態に応じて説明会や懇談等を実施し、情報の提供や進路決定に向けた課題や支援方法について共通理解を図ります。 3 希望する進路先・居住地関係機関との連携を図り、情報提供することで児童生徒への理解を深めていただくよう努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育ノートの周知を図ったうえで、活用を促進するように工夫します。キャリアパスポートの作成を施行していきます。 ・連絡帳やアンケート等を利用し、保護者のニーズに合った情報を把握するようにします。ICTを活用し、わかりやすい説明や提示方法に心がけます。 ・積極的に進路先や関係機関と連絡を取り、広範囲に及ぶ居住地に対応できるよう心がけます。
教育支援部	児童生徒の実態や一人一人の教育的ニーズに応じ、きめ細やかな支援を行うため、教職員研修の充実を図ります。各関係機関との情報の共有化、連携の充実を図り、病弱特別支援学校としてのセンター的機能の推進に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・夏の研修会を計画、実施し、適切な支援につながる教職員の資質向上を図るとともに、研修の一部を地域の教育関係者に公開します。 ・スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと協力し、校内支援の充実を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との連携や担当者との情報交換を密にし、地域に根ざした支援を提供します。 ・研修会については、近年の教育状況やニーズを把握するとともに、在籍する児童生徒の支援に役立つ内容であることを重視します。
教育情報部	GIGAスクール構想によるICTの環境整備を活用し、これまでの実践とICTを活用した授業への取り組みを学校全体で進め、児童生徒の学ぶ力、教師の指導力を最大限に引き出す取り組みを進めます。	<ol style="list-style-type: none"> 1 コラボノートなどの教育系クラウドの環境を整え、本校や施設内教育、訪問教育で教育を受ける児童生徒への学びの保証ができるようにします。 2 ICT活用力の向上を図るため、マニュアルや設定動画を作成し、職員のオンラインアプリ等のスキルが向上するように環境を整えます。 3 校内ネットワークの整備や運用を行い、職員や児童生徒がより快適に学習に取り組める環境を目指します。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 授業での効果的なデジタルコンテンツの活用や施設内教育、訪問教育を結んだ同時双方向授業に最適化した通信環境の改善と維持に努めます。 2 個人情報の取り扱いや安全に最大限に留意しながら、教育用クラウドの活用を進めることで学びにおける時間・距離などの制約を取り払い、学校と家庭での切れ目ない学習を保証します。
学校関係者評価を実施する主な評価項目	<ol style="list-style-type: none"> 1 個に応じた指導の工夫・改善及び授業力の向上ができたか 2 自立と社会参加を促す教育活動が推進できたか 3 「笑顔」のある安全・安心な学校づくりができたか <ul style="list-style-type: none"> ・提案・交渉・合意形成型アプローチ、ジェントルティーチングを進められたか 4 関係機関や保護者等との連携による教育活動が推進できたか 5 センター的機能の充実ができたか 6 仕事の効率化、勤務時間の適正化に努め、教職員のメンタルヘルスを保持することができたか 		